大間々用水だより
第 40 号

平成２９年１２月２２日
発行

組合員及び面積の動向
平成２９年４月１日現在
組合員数　　　６９６名
賦課面積　　　２９１ha

〒３７６－０１０１
みどり市大間々町大間々１５４９番地
ＴＥＬ　０２７７－７３－５５９９
ＦＡＸ　０２７７－７２－２５００

おおままようすいかんばいはつでんしょ
～ 完成した大間々用水神梅発電所 ～

発電所の概要

所　在　地	みどり市大間々町上神梅１４－３
最大使用水量	０.３００m³/s
有効落差	２２.２５m
最大出力	４７kw
年間発電電力量	264,000kwh(一般家庭約 70 戸が１年間に使用する電力量に相当)
発電所建屋	半地下式鉄筋コンクリート構造　２８㎡

理事長あいさつ

大間々用水土地改良区
理事長　石原　条

組合員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年、地球温暖化対策として、また地域資源の有効活用の観点から石油や石炭の代替エネルギーとして水力など再生可能エネルギーの導入推進が図られるようになりました。

当土地改良区では、大間々町神梅地区の幹線導水路において、農林水産省の補助事業を活用し、みどり市との共同事業として小水力発電所の建設を進め、去る１０月に施設が完成し運用を開始することができました。今後は発電所が、かんがい施設の維持管理に資するだけでなく、地域資源の有効活用の核施設としての役割を果たせるよう管理運営に努力していきたいと考えております。

また現在、当改良区管内２ヵ所で県営事業を実施しています。一つは幹線導水路の中でも老朽化が著しく施設の破損等による災害発生の危険性が増している隧道の改修工事と、河川の流況が変化し管理や用水の安定取水に支障を来している深沢川取水口の改修工事です。これらの改修事業は当改良区の長年の懸案事項でもあり、工事の早期完成が待たれています。

組合員の皆様におかれましては近年の天候不順による農作物の生産・収穫作業、また後継者不足など何かと心配も多いかとご推察いたしますが、当土地改良区はこれからも組合員の皆様を支えるべく役職員一丸となって運営管理に努めて参りますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

また、関係機関の皆さまにおかれましても事業執行・運営管理等について、今年一年、一方ならぬご支援とご尽力をいただきましたことに深く御礼申し上げますと共に、来年以降も変わらぬご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

◆　平成２９度臨時総代会　◆

平成２９年１０月１３日に平成２９年度臨時総代会が大間々用水土地改良区会議室にて開催されました。

会議には総代２５名が出席し、来賓として群馬県東部農業事務所農村整備課の中村課長、伊勢崎市土地改良課の関根課長、みどり市農林課の小倉課長、桐生市地域振興整備課の峯岸課長補佐に出席をいただき、髙野光和総代が議長となり、提出した次の５議案すべて原案どおり可決となりました。

＊＊

～ 可決された議案 ～

議案第１号　平成 28 年度事業報告書

議案第２号　平成 28 年度一般会計・特別会計決算書

議案第３号　平成 28 年度財産目録

議案第４号　平成 28 年度農地転用意見書交付状況

議案第５号　平成 29 年度一般会計収支補正予算書(案)

～ 平成２８年度の一般会計決算報告 ～

収　　入　１６３,１５２,１２６円
支　　出　１３８,８８５,９５０円
差引残金　　２４,２６６,１７６円　(平成 29 年度へ繰越)

収入の部決算額（単位：円）		支出の部決算額（単位：円）	
1. 組合費	20, 177, 800	1. 事務費	68, 261, 869
2. 財産収入	32, 389, 417	2. 施設管理事業費	50, 163, 974
3. 負担金及び補助金等	67, 431, 284	3. 土地改良事業費	227, 428
4. 小水力発電事業補助金等	4, 421, 820	4. 発電事業費	1, 557, 340
5. 雑収入	8, 820, 908	5. 借入金（公庫償還金）	12, 385, 922
6. 繰入金	11, 700, 000	6. 財産費	6, 289, 417
7. 借入金	0	7. 予備費	0
8. 繰越金	18, 210, 897		
合　　計	163, 152, 126	合　　計	138, 885, 950

大間々用水神梅発電所について

１１月１７日に大間々用水神梅発電所の竣工式を執り行いました。竣工式には、群馬県などの関係機関及び神梅地区住民代表、実施設計業務を担当したぐんま小水力発電推進協議会をはじめ、水車製作据付業者、建物等施工業者の方々など約３０名の代表の方にご列席いただきました。また群馬県内では初めてとなる土地改良区が行う農業用水による地域環境エネルギー発電ということで新聞社も竣工式の取材に訪れました。式典では当改良区が事業経過報告を行い、東部農業事務所長様並びに地元神梅区長様より来賓祝辞のご挨拶をいただきました。また、事業完成に尽力した協力会社等に感謝状の贈呈を行いました。最後に発電所内部の見学及び説明を行いました。

桐生タイムス

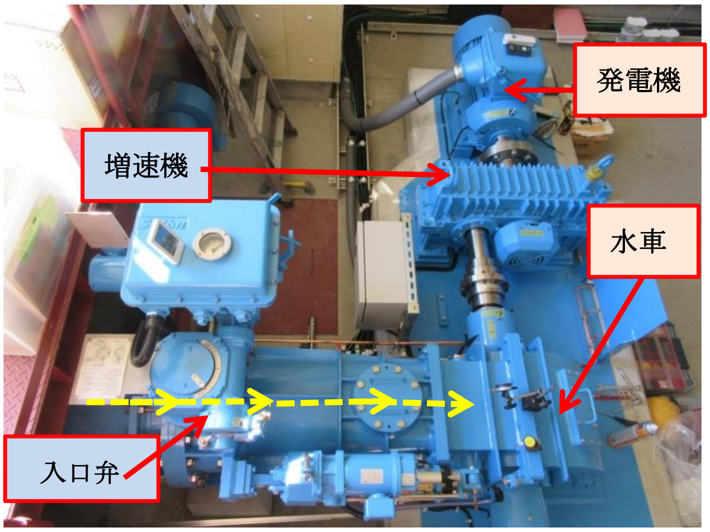
11月18日 土曜日

神梅に小水力発電所

大間々用水 県内の土地改良区で初

みどり市と共同で

農業用水を有効活用



発電所建屋内部には発電機・水車などの他に制御盤なども設置されており、また、遠方監視制御装置からメールにて故障などの異常情報が転送される仕組みになっています。

大間々用水神梅発電所で発生した電気は電気事業者である東京電力に売電し、発電所の維持管理経費を除いた収益は農業用水利施設の維持管理費用の一部に充てます。

また、「大間々用水神梅発電所」を核施設とし、農業用水等を利用した地域資源の活用のあり方や可能性のある地域資源の環境整備を通し、地域活性化にも取り組みます。

◇ 役員・総代の視察研修を実施 ◇

秋も深まった１０月３１日～１１月１日の２日間、当改良区役員総代による視察研修が実施されました。今年は、かんがい施設竣工後５０年以上が経過し用水の重要性を役職員が認識し組合員や地域住民にいかに伝承していくかが課題である当改良区が、小さい改良区ながらも先人の功績を重んじ施設や理念を後生へ伝承すべく組合員や地域住民に広め運営を行い、模範となる長野県佐久市の五郎兵衛用水土地改良区を研修して参りました。また、八ツ場ダムの工事現場も視察しました。群馬県内のダム工事としては着工までの数々の問題解決と年月を費やし、また、その工事の規模も大きく、ダム工事事務所での説明と見学は当改良区が今取り組んでいる県営事業にも活かされる視察となりました。

◇ 現在実施中の県営事業 ◇

県営ため池等整備事業(用排水施設整備工事)

平成 27 年度から５カ年計画で実施しており昭和３７年度に造成され傷んだ水路の隧道部・開渠部の改修を行うことで災害防止と農業用水の安定供給を図ります。総事業費は 412,800 千円を見込んでおり、３年目となる平成２９年度は事業費 130,000 千円で３つの隧道の調査測量設計一式と８号隧道（L=109m）の改修工事を行う予定。

県営農地防災減災事業(農業用河川工作物応急対策事業)

平成２９年度から新たに３カ年計画で実施します。昭和３７年度に設置された固定堰の頭首工が、近年のゲリラ豪雨等による異常出水や堰堤間の法面崩落により堆砂が急激に進み取水口が河床以下になり平常時のゲート操作が困難で施設の機能が十分に果たせない状況となっており施設からの溢水による山地崩壊や河川管理施設に支障を及ぼす恐れが生じております。

これを解消すべく総事業費 301,700 千円の予算で、平成 29 年度は事業費 48,100 千円で調査測量設計（頭首工設計等）一式と法面保護工事を行う予定。

畑かんの凍結予防にご協力ください

寒さが厳しくなる１月・２月は寒さによる凍結が原因の畑かんの漏水が多くなります。組合員の方々が畑かんバルブを布で被うなどして防寒対策をしていただくだけで凍結による漏水を減らすことができます。ご協力をよろしくお願いいたします。

賦課金の納入はお済みでしょうか

賦課金は土地改良法に基づき土地改良区定款で定められ、組合員が負担しなければならない費用です。賦課金は土地改良区を運営管理するうえで必要な経費であり重要な財源です。

納付期限は６月３０日ですが、まだ納めていない組合員の方は至急納入してください。

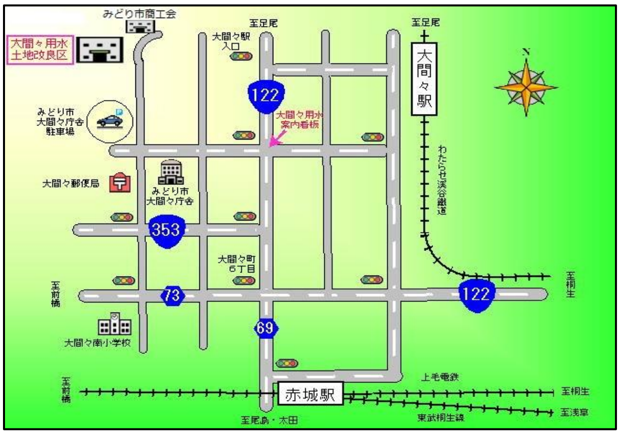
～お悔やみ～

伊藤甲子生監事(６８歳)が平成２９年１１月２０日に逝去されました。ここに生前のご功績に対し深甚なる敬意と感謝を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

◇ 年末年始の業務についてお知らせ ◇

年内は１２月２８日（木）まで通常どおりの業務を行います。１２月２９日(金)～来年１月３日（水）までは事務所は休みとなります。新年の業務は１月４日(木)から開始となります。

各種届出やご質問ご意見等がありましたら、お気軽に事務所までお問い合わせ下さい。



水土里ネット

発行所：大間々用水土地改良区

〒３７６－０１０１

みどり市大間々町大間々１５４９

ＴＥＬ（０２７７）７３－５５９９

ＦＡＸ（０２７７）７２－２５００